



北九州SDGs

報道機関各位

令和4年10月5日  
北九州市環境局グリーン成長推進部

## 地元企業への脱炭素化支援に向けた 企業との連携協定締結に係る記者会見について

この度、本市が進める再エネ100%電力、電動車等の普及促進の更なる拡大や、効率的なエネルギーマネジメントシステムの構築、地元企業への生産プロセス改善支援などグリーン成長戦略の取り組みをさらに加速するため、下記の企業と連携協定の締結を行うことになりましたので、お知らせいたします。

記

### 連携協定締結に係る記者会見について

- (1) 日時 令和4年10月5日(水) 14時00分～14時45分
- (2) 場所 北九州市役所本庁舎3階 大集会室
- (3) 出席予定者 北九州市長 北橋 健治  
ダイキン工業株式会社 代表取締役兼副社長執行役員  
田谷野 憲(たやの けん)  
株式会社デンソー九州 代表取締役社長  
浅野 幸男(あさの ゆきお)  
株式会社 Yanekara 代表取締役 COO  
吉岡 大地(よしおか だいち)
- (4) 次第 ①北橋市長からのご挨拶と連携の趣旨のご説明  
②連携企業からのご挨拶と連携事項・取組内容のご説明  
③記念撮影  
④質疑応答

#### 【問合せ先】

(ダイキン工業株式会社との連携に関すること)

北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課

電話：093-582-2238 担当：柿木、塩田

(株式会社デンソー九州との連携に関すること)

北九州市環境局環境イノベーション支援課

電話：093-582-2630 担当：村上、濱邊<sup>はまへ</sup>

(株式会社 Yanekara との連携に関すること)

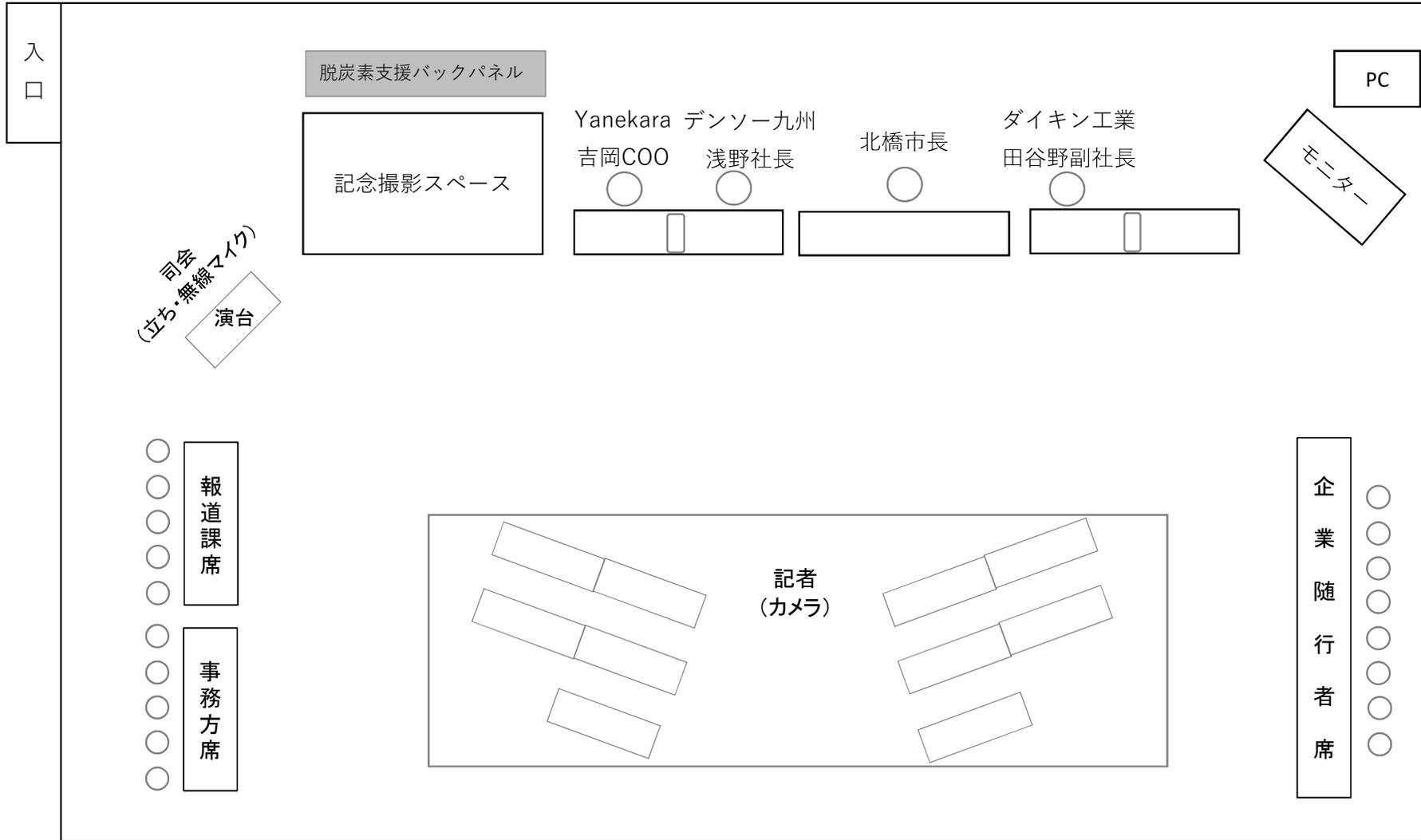
北九州市環境局グリーン成長推進課・再生可能エネルギー導入推進課

電話：093-582-2238 担当：工藤、塩田

# 連携協定締結式 レイアウト

令和4年10月5日(水)14時00分～14時45分

本庁舎3階大集会室



# 各企業との連携内容について

## ○ダイキン工業株式会社

### 『地球温暖化対策の推進に関する連携協定』

連携の目的：地球温暖化対策の推進に関する取組の一環として、相互の連携を強化し、北九州市の地球温暖化対策の推進に取り組む。

連携の内容：①第三者所有方式による高効率空調設備の普及支援

②IoT を活用した設備管理による長寿命化とライフサイクルコストの最適化

③空調設備、LED 等を地域単位でエネルギーマネジメントを行なうことによる再生可能エネルギー最適利用の実現

④冷媒を再生する手順と更新後の機器に再生冷媒を利用する際の手順の確立

※第三者所有方式：初期費用とメンテナンス費用をかけずに、太陽光発電システム、蓄電池・EV、エアコン等の省エネ機器などを導入できる仕組み。一方で、利用者はサービス利用料（電気料金等）を支払う。

## ○株式会社デンソー九州

### 『地元企業の脱炭素化支援に関する連携協定』

連携の目的：地元企業の脱炭素化支援に向けた取組みを加速させるため、生産プロセス改善支援や電動車の普及促進、再エネ 100%電力の普及促進等に取り組む。

連携の内容：①中小企業向け製造ラインの効率化への支援

②充放電器、充電器に関する実証を通じた EV、PHEV 及び V2X の普及促進

③再エネ 100%電力の普及促進や再生可能エネルギーの有効活用の推進

※PHEV：ハイブリッドカー（HV）に外部充電機能を加え、電気だけで走れる距離を大幅に長くした次世代エコカー

※V2X：クルマと他(クルマや歩行者、インフラ、ネットワークなど)との接続や相互連携を総称するコネクテッド技術

## ○株式会社 Yanekara（ヤネカラ）

### 『地球温暖化対策の推進に関する連携協定』

連携の目的：地球温暖化対策の推進に関する取組の一環として、相互の連携を強化し、北九州市の地球温暖化対策の推進に取り組む。

連携の内容：①太陽光パネルから効率的に電動車に充電する充放電器の社会実装の推進

②充放電器の制御による再生可能エネルギーの最適利用に寄与する仕組みの構築

※効率的な充放電器：一般的に太陽光パネルで発電した電力を電動車に充電する場合、直流から交流に変換され、その過程で熱が発生しエネルギー損失が発生する。今回の充放電器は太陽光パネルで発電した電力を直流のまま利用することで、エネルギー損失を最小限に抑え、再エネを最大限有効に活用できるもの

## 企業との連携協定締結における各社との連携事項

### 地元企業への脱炭素支援に向けた連携



- ・空調設備、LEDほかのエネルギー  
マネジメントシステムの構築
- ・再生冷媒の導入及び活用



- ・生産プロセス改善支援
- ・再エネ100%電力、電動車等の  
普及促進



- ・太陽光パネルから効率良く電動車  
に充電できる充放電器の社会実装
- ・充放電器を制御するエネルギー  
マネジメントシステムの社会実装



# 各企業概要

## ●ダイキン工業株式会社

所在地：大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル  
代表者：代表取締役社長兼 CEO 十河 政則（とがわ まさのり）  
資本金：850億円  
従業員数：88,698名  
事業内容：空調、冷凍機、化学、油機、特機、電子システム事業

## ●株式会社デンソー九州

所在地：北九州市八幡西区本城 5 丁目 4 番 1 号  
代表者：代表取締役社長 浅野 幸男（あさの ゆきお）  
資本金：60 億 1 千万円  
従業員数：1,722 名  
事業内容：熱機器製品の生産、ディーゼル燃料噴射機器部品の生産  
ガソリンエンジン吸気系製品の生産  
自動車用ワイパーウォッシャーシステムの生産

## ●株式会社 Yanekara

所在地：東京都台東区谷中 2 丁目  
開発拠点：東大柏ベンチャープラザ（千葉県柏市柏の葉 5-4-19 301A）  
代表者：代表取締役 COO 吉岡 大地（よしおか だいち）  
資本金：663 万円  
事業内容：次世代型 V2X プラットフォームの開発と販売



第三者所有方式による省エネ空調機の普及や、エネルギーマネジメントで自治体の脱炭素を加速

## 北九州市との地球温暖化対策の推進に関する連携協定

空気で答えを出す会社

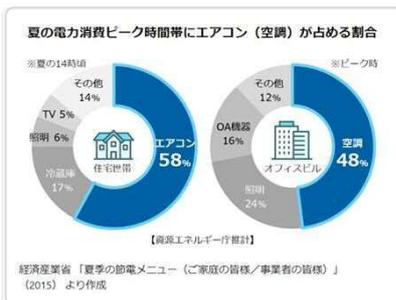


ダイキン工業株式会社 代表取締役 兼 副社長執行役員

田谷野 憲

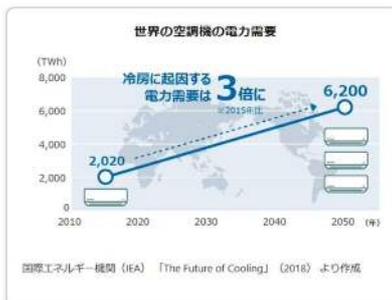
Why DAIKIN?

### ダイキンがカーボンニュートラルに取り組む理由



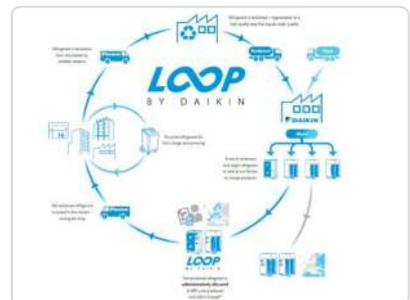
建物の中で大きなエネルギーの割合を占める空調

空調は快適性を向上させる反面大きな電力を消費します  
省エネ性の高い機器を導入することはもちろん  
適切なエネルギーマネジメントを行う事で  
エネルギー消費量を削減する事が可能です



今後、グローバルで空調の需要は 3倍に

これから発展を遂げる新興国を含めるとこれからの  
2050年迄で冷房に起因する電力消費量は  
3倍になると言われています

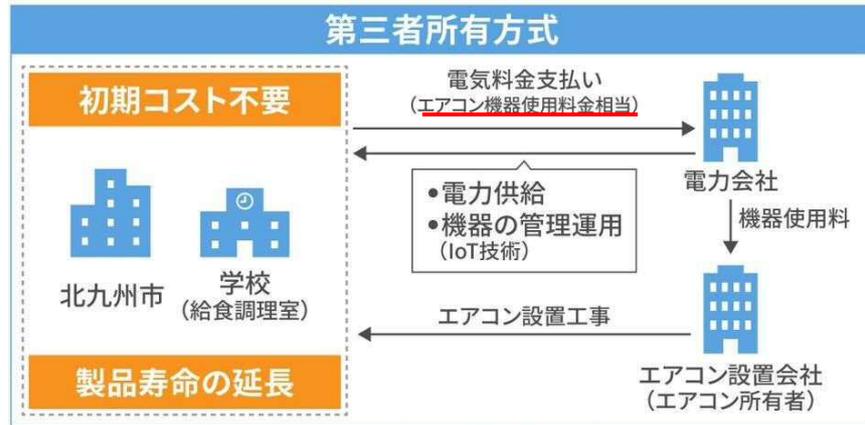


空調に使われているフロンガスは適切な管理が必要

空調に使われているフロンガスは大気へ放出してしまうと  
CO<sub>2</sub>に比べて約数百倍から数千倍の温室効果  
があるといわれています  
温暖化に与える影響が少ない冷媒の開発と  
漏洩させない管理、再利用への取組を行っていきます

第三者所有方式？

初期費用が掛からない為、短年度で省エネ設備への改修・導入が可能



参考：北九州市 環境局再生可能エネルギー導入推進課

地域単位のエネルギーマネジメント？

空調機をクラウドに接続することで建物毎ではなくエリアマネジメントが可能に！



空調の調整力としてのポテンシャル(シミュレーション)

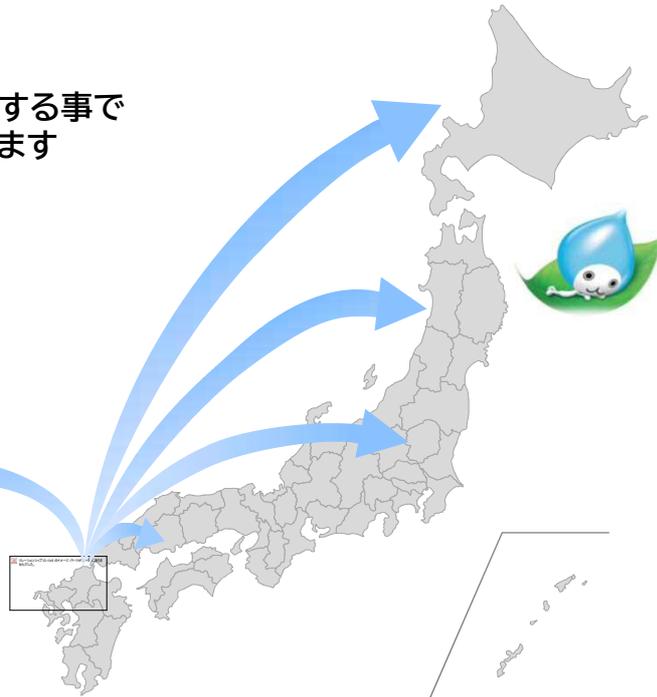
2,473施設、6,803棟 延べ床:540万㎡	10%	30%	50%
クラウド接続台数	2,900台	8,700台	14,500台
Δkw調整力	26MW	78MW	130MW

※北九州市内の公共施設をもとに簡易試算

空調機1台では小さな削減効果も  
クラウドで束ねる事で大きな電力削減が期待できます

本連携協定の取組みを基に

北九州モデルを他の地域にも展開する事で  
脱炭素社会の実現に貢献していきます



## 地元企業への脱炭素支援に向けた連携協定

デンソーグループは2035年までにカーボンニュートラルを達成します

### [連携事項]

#### 1.生産プロセス改善支援

市内企業の生産プロセス改善を支援し  
脱炭素化に向けた取り組みを推進。

生産工程における省エネ改善などの  
取り組み事例の紹介。

#### 2.再エネ100%電力、電動車等の普及促進

北九州市と連携した公共施設や  
民間企業の再エネ100%電力、  
電動車等の普及促進等。



**DENSO**  
Crafting the Core

# 地元企業への脱炭素支援 に向けた連携協定



×

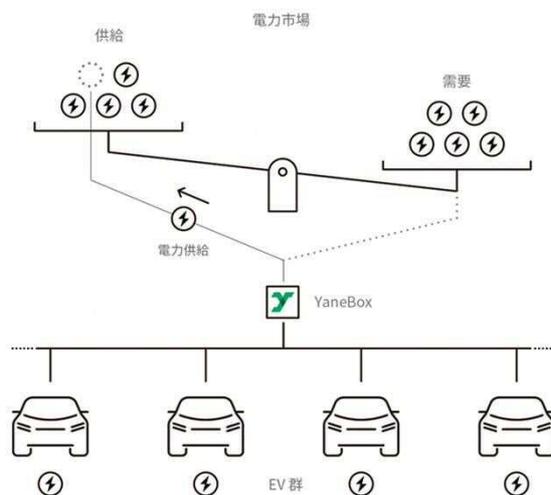


1



東大から再エネ自給社会をつくるZ世代の企業

## 再エネやEVの大量導入が需給バランスを乱要因に 解決策：EVを群制御し電力需給状況に合わせて充放電



3

## 地元企業への脱炭素支援に向けた連携協定

太陽光発電でとEVの導入



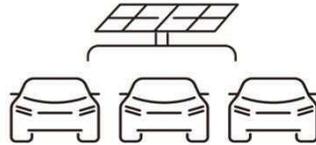
再エネ100%電力、  
電動車等の普及促進

再エネの最大・最適利  
用への貢献

太陽光充電×群制御クラウド

4

## 地元企業への脱炭素支援に向けた連携協定



### 再エネ100%電力、 電動車等の普及促進

北九州市と連携した公共施設や民間企業の再エネ100%電力、電動車等の普及促進等

### 再エネの最大・最適利用への貢献

電力市場価格が

- ・安い時（再エネの発電量が多い時）にEVに蓄電し、
- ・高い時（再エネの発電量が少ない時）にEVから施設に放電

することで、再エネ最大限かつ最適利用する。